

展示特別企画

「ひょうごの草原～人が育んだ草原と生き物の歴史～」の開催

1 主旨

温暖湿潤な日本(兵庫県)では、草原は人の手による火入れや草刈りなどの管理によって維持されてきました。現在の兵庫県では、広大な草原はごく一部でしか見られず、あまり身近に感じられないかもしれません。しかし、ほんの数十年前まで、草原はとても身近な存在でした。縄文時代から20世紀前半までの長い間、人と草原は共生をしてきました。しかし、高度経済成長期の生活様式の変化によって、草原が利用されなくなり、そこにすむ生き物は危機的な状況に追い込まれてきました。今回の展示特別企画では、兵庫県の草原を取り上げ、草原とそこにすむ生き物の隆盛と衰退の歴史、また草原の保全について紹介します。

2 実施概要

- (1) 期 間：令和2年10月10日(土)～令和3年1月7日(木)
月曜日(祝日の場合はその翌日)、および年末年始(12/28～1/2)は休館
- (2) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 2階企画展示室
- (3) 展示内容：兵庫県内における半自然草原の歴史(縄文時代以降の草原の成り立ち、昭和初期までの草原の利用、高度経済成長期以降の草原の衰退、これからの草原の保全)について、それぞれの時代における人とのかかわりの中で紹介します。さらに、兵庫県内の草原で見られる多様な生物(主に脊椎動物、植物、昆虫など)についても解説します。

<主な展示物>

標 本：哺乳類3点、鳥類1点、植物約20点、昆虫約100点、土壌6点
生態展示：3点程度
模 型：2点
学術論文：6点程度
そのほか草原に関連する生活用品、作品など
(各展示物の展示点数は多少前後することがあります)

3 展示の見所

兵庫県内で繁殖が確認されたイヌワシをはじめ、草原に生息する生き物の標本を100点以上展示します。草原とそこにすむ生き物の歴史についての最新の研究成果も必見です。

4 関連セミナー（一般セミナー：事前申込制）

日時	場所	内容
10/11（日）9:20～16:00	六甲山地 東お多福山	「東お多福山草原 秋の植物観察会」
10/18（日）10:00～16:00	JR 粟生駅から鴨池公園まで	「草甸(そうでん)の植物観察会(初秋)」
10/24（土）12:00～15:00	兵庫県立宝塚西谷の森公園	「里山や草原の植物と昆虫」
10/31（土）13:00～16:00	神鍋高原	「神鍋高原の植物を観察しよう」
11/14（土）13:00～15:00	博物館内	「半自然草原の特徴と保全」
11/15（日）13:30～16:30	神姫バス「古坂3丁目」バス停から逆池周辺	「草甸(そうでん)の植物観察会(晩秋)」

※セミナーの申し込みは人と自然の博物館ホームページから

5 マスコミ向けプレビュー

- (1)日時：令和2年10月9日（金） 14:00～
 (2)場所：兵庫県立人と自然の博物館 2階企画展示室
 *担当研究員より展示の説明を行います。

6 担当

兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部 研究員 中濱 直之

<展示される標本等の一部>



ウツボグサのハーバリウム標本



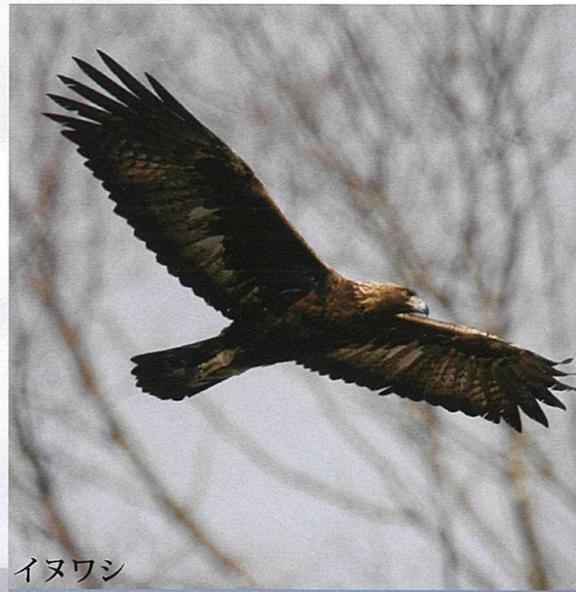
ナンバンギセルの模型

- 7 問い合わせ先 兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習課
 〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目
 電話：079-559-2002 FAX：079-559-2007

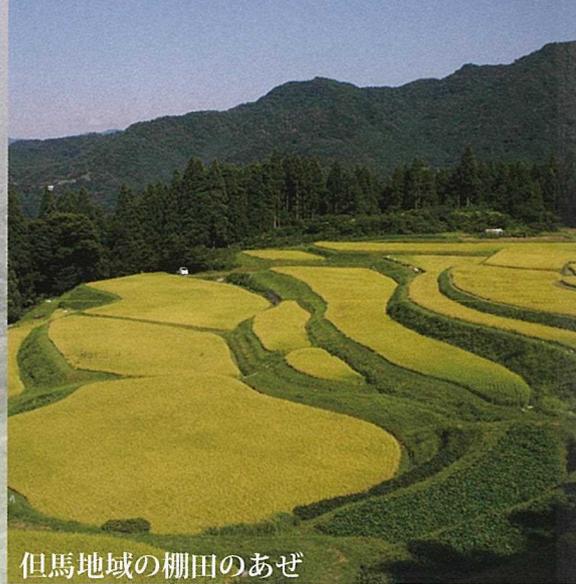
人は草原をまもり、多様な生き物を育んできました

ひょうごの草原

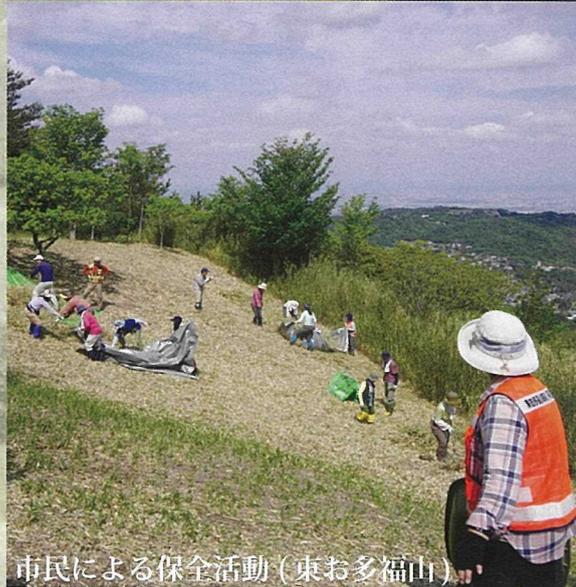
—人が育んだ草原と生き物の歴史—



イヌワシ



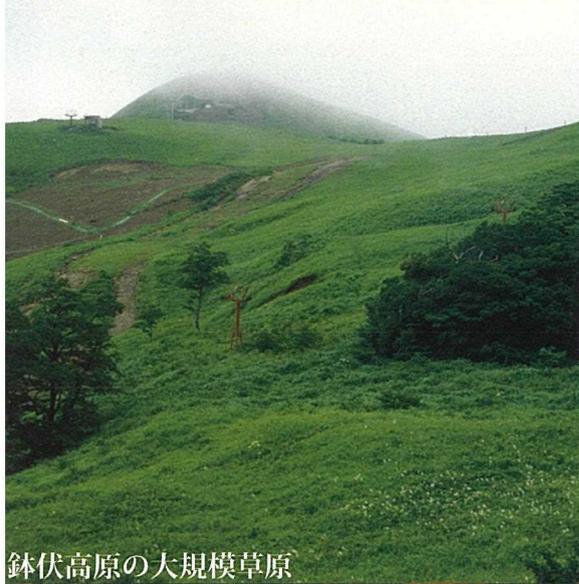
但馬地域の棚田のあぜ



市民による保全活動(東お多福山)



キキョウ



鉢伏高原の大規模草原



低峰高原での火入れ

2020年
10/10(土)
▼
2021年
1/7(木)

休館日
月曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12/28~1/2)

会場 兵庫県立人と自然の博物館 2階企画展示室

開館時間 10:00 ~ 17:00 (最終入館は 16:30)

入場料 無料 (別途観覧料が必要)

問い合わせ 〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目

<https://www.hitohaku.jp/> ☎ 079-559-2001

主催 兵庫県立人と自然の博物館 協力 神戸大学大学院人間発達環境学研究所



企画展に関する情報は、
QRコードからアクセスできます



ひとと歩んだ草原の栄枯盛衰

草原は、人との伝統的な暮らしとともに維持され、豊かな生態系を育んできました。しかし、人の暮らしぶりの変化とともに、現在草原は危機的な状況を迎えています。

この企画展では、兵庫県の草原に焦点を当てました。縄文時代から現在にいたるまで、人とともに歩んだ草原の歴史と草原で育まれてきた多様な生き物たちを紹介し、これからの草原と人との関係を展望します。

期間中は関連セミナーも実施します。皆様のご来館を心よりお待ちしております。



兵庫県内の草原

(左上:採草地、右上:河川堤防、
左下:スキー場、右下:棚田のあぜ)

草原に息づく生き物たち



ナンバンギセル



ウスイロヒョウモンモドキ



オキナグサ



トラマルハナバチとノアザミ

関連セミナー 有料・事前申込必要

- 10/11 (日) 東お多福山草原 秋の植物観察会
9:20-16:00 東お多福山にひろがる草原で、秋の植物を観察します
 - 10/18 (日) 草甸(そうでん)の植物観察会(初秋)
10:00-16:00 草原植生の一つである草甸で、初秋の植物を観察します
 - 10/24 (土) 里山や草原の植物と昆虫
12:00-15:00 宝塚西谷の森公園で、秋の植物と昆虫を観察します
 - 10/31 (土) 神鍋高原の植物を観察しよう
13:00-16:00 兵庫県北部の神鍋高原で秋の植物を観察します
 - 11/14 (土) 半自然草原の特徴と保全
13:00-15:00 草原の特徴と人との関係について博物館内で解説します
 - 11/15 (日) 草甸(そうでん)の植物観察会(晩秋)
13:30-16:30 草原植生の一つである草甸で、晩秋の植物を観察します
- ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止になる可能性があります

申込方法

ホームページ、メール、ファックス、はがきのいずれかでお申し込みください。
内容、受講料、場所など詳細はホームページやセミナーガイドをご覧ください。

一般セミナーの申込先

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目
兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習課セミナー係
Fax: 079-559-2033 E-mail: seminar@hitohaku.jp
Tel: 079-559-2003 (生涯学習課セミナー係)

お問い合わせ

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目
https://www.hitohaku.jp/ Tel: 079-559-2001



アクセス

- 神戸電鉄「フラワータウン駅」下車 徒歩約5分
- 神姫バス「フラワータウンセンター」下車 徒歩約5分
- 中国自動車道

「神戸三田IC(六甲北有料道路終点)」から約10分

★博物館の乗用車専用駐車場はありません。

近隣の有料駐車場をご利用ください。

※イオン三田店の上階(3階~6階)に駐車されますと、4時間まで無料のサービスがあります。
詳しくは博物館におたずねください。

観覧料

大人 200円(150円)、大学生 150円(100円)
70歳以上 100円(50円)、高校生以下無料

※障害者手帳提示で大人 50円(30円)、大学生 30円(20円)

※障がい者1名につき介護者1名は無料

※()内は20名以上の団体割引料金

